

主な記事

2・3面 自治労現業集会

都本部社会福祉評議会 第30回総会

私のおすすめ (自治労町田市図書館嘱託員労働組合 執行委員長 山本 香織)
「とぼた」に登録しよう!

4面

2026年関東甲地区自治体職員等スポーツ大会 (バレーボール大会)

東京都代表決定戦

東京地公労 第40回定期総会

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号

SKプラザ4階

電話 03-3556-3755

自治労東京都本部発行
企画総務局

責任者 松村 誠治

編集者 西岡 芳宏

1部10円 (但し組合員は組合費に含む)

公務員連絡会2026人勧期7.22中央集会



▲公務員連絡会2026人勧期7.22中央集会の様子

公務員連絡会が7月22日に開催した2026人勧期中央集会には、全電通会館およびYouTubeライブ配信を通じて全国から約450人の仲間が結集した。この中央行動は、8月上旬の人事院総裁と委員長クラスの最終交渉にむけ、職員福祉局長や給与局長か

らの前進回答を引き出す、まさに人勧期行動最大のヤマ場となる書記長クラス交渉にあわせて開催され、交渉に臨む公務員連絡会書記長クラス交渉団を現場の圧倒的な熱量で後方支援するための力強い足場として位置づけられたものである。この間、公務員連絡会は

公務員連絡会は7月22日、人勧期最大のヤマ場となる書記長クラス交渉にあわせて2026人勧期中央集会を開催し、全国から約450人の仲間が結集した。交渉にあたり、全体で積み上げた団体署名4,243筆・職場決議8,726件を背景とした組合員の思い、そして会場に満ちる期待と決意を糧に、交渉団は集会会場から人事院へ臨んだ。勧告にむけて官民較差の状況や配分に関する人事院のスタンスを明確にするよう追及するも、『集計中』などを繰り返した。人事院から納得できる回答は示されず平行線を辿ったが、再交渉を設定。交渉・協議に最後まで取り組む決意が熱く示された。

6月17日に川本人事院総裁へ要求書を提出したのち、各構成組織、職場段階で団体署名・職場決議行動を展開してきた。7月8日の幹事クラス交渉において、全国から集約した団体署名4,243筆、職場決議8,726件という重い現場の想いを人事院職員団体審議官へ提出。自治労では団体署名3,260筆、職場決議3,489件を担い、都本部としても団体署名202筆、職場決議81件を積み上げ、公務員連絡会の交渉を力強く後押しした。

中央決起集会では、主催者を代表して公務員連絡会の渡邊議長が挨拶に立ち、「真に生活改善につながる賃金引上げ」が今こそ不可欠だと強く訴えた。続いて、森永事務局長から基調提起が行われ、本年の勧告に対する組合員の期待感はかつてないほど高まっていると言及した。「全職員(全級・全号俵)の引上げ勧告」を強力に追求し、一部の若年層や初任給のみを意識した限定的な改定に偏る

る
人事院勧告

全職員の

月例給・一時金の引上げ勧告を

ことなく、中堅・高齢層を含む俸給表の水準全体への配分、さらに再任用職員の給与水準改善や一時金の引き上げ、新たな人事制度への慎重な交渉・合意を求めていく方針を集会全体で共有した。その後、交渉の場となる人事院へ交渉団を会場全体の熱い拍手で送り出した。

集会には、連合の芳野会長も応援に駆けつけ、全世代への十分な賃上げと代償措置の確かな提示を求めて決起する公務員連絡会を激励した。また、各構成組織の決意表明では7人が登壇し、自治労からは宮脇本部労働条件局長がマイクを握った。宮脇局長は、業務負担増と賃金抑制に耐える職場の実態や早期退職の深刻さを挙げ、「中高齢層も含めたバランスの良い賃上げと人材の定着こそが不可欠」と強調。人事院勧告、そして秋の確定闘争へ向けて一丸となって突き進むという現場の怒りと熱い決意を力強く表明した。続いて、連合の仁平副事務局長から2026春闘総括に関する講演を受け、民間春闘の成果を公務へ繋ぐ認識を深めた。

人事院との交渉を終えて

その後、交渉を終えた交渉団の報告が森永事務局長から示された。「全世代の

職員の十分な引上げ」を激しく迫り、勧告の方向性について追及するも、給与局長は民間調査結果について「集計中」「検討中」と繰り返すにとどまり、この段階での前進回答を拒んだ。勧告日については「例年通りの日程で準備を進めている」との回答を引き出し、8月3日の週後半が見込まれることとなった。この膠着した状況に対し、月例給の官民較差の規模感や配分の考え方、一時金の見通しについて、納得のいく回答を引き出すため、徹底追及を続ける構えで公務員連絡会はずぐさま再交渉を設定した。勧告後の給与法改正にむけた政府交渉や国会対応も見据え、最後まで粘り

要求事項

- 2026年の給与改定勧告にあたっては、全職員に対する月例給・一時金の引上げ勧告を行うこと。
- 2031年の定年引上げ完成を見据えた60歳前後の給与カーブの在り方について、定年を延長した職員、定年前職員、再任用職員など中高齢層職員全体の給与水準の改善を行うこと。
- 本年勧告において「骨格」が示される「新たな人事制度」に含まれる予定の、「職務・職責に応じた給与体系」「諸手当の抜本的見直し」について、その方向性を公務員連絡会に速やかに示すとともに、公務員連絡会との真摯な交渉・協議を行うこと。
- 長時間労働の是正に向け、超過勤務の上限規制の実効性を高めるとともに、超過勤務手当の全額支給を徹底すること。

都道府県	団体名
東京都	

(取り扱い組織名: 全日本自治団体労働組合)

▲4,243筆の声を届けた団体署名

強く交渉・協議を続けていくとの強い決意が示された。最後は、渡邊議長の「団結がんばろう」の三唱で集会を締めくくった。
私たちがめざすべき賃金水準を人事院勧告へ反映させていくためには、職場から絶え間なく切実な声を届け、決して妥協のない粘り強い交渉を展開し続けることが欠かせない。そのためには公務員連絡会・自治労都本部は引き続き、公務員連絡会・自治労への結束をさらに強め、職場一体となった意思統一を進めながら、組合員とともに全体で取り組みを強化していく。

東奔西走

うだるような暑さが続く日々。気候の温暖化により、日中の最高気温が35℃以上になる日も珍しくなくなった。気象庁は、2026年4月に40℃以上の日を「酷暑日」とした。未来のためにも、省エネルギーや温暖化対策が一層求められている▼照りつける太陽に体力が奪われがちな季節だが、「夏季休暇」は日頃の忙しい業務から離れ、心身をしっかりと休める重要な機会だ。家族や友人と過ごす人、趣味に没頭する人、あるいはただ静かに身体を休める人、過ごし方はそれぞれ違えど、「休むことは働くことと同じくらい重要である」という点を改めて認識し、お互いに気持ちよく休める職場環境をつくり、一度仕事のスイッチをオフにし、心豊かな時間を過ごしてほしい▼併せて、職場環境の熱中症対策も、労働安全衛生規則が改正され、対策が義務化されている。適切な対処が行われているのか点検し、快適な職場環境と心身のフレッシュで、暑い夏を乗り切っていきましょう。(萩原)

自治労東京 ホームページのご案内

組合員のための
情報盛りだくさん
・機関紙デジタル版
・家電の限定優待販売



<https://jichirotokyo.jp/>

組合員専用ページ
パスワード「tohonbu」



視覚障害その他の理由で活字のままでは利用できない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の制作をすることを認めます。その際には自治労東京都本部までご連絡ください。

2026年関東甲地区自治体職員等スポーツ大会 東京都代表決定戦



関東甲大会出場を決めた八王子市職チーム

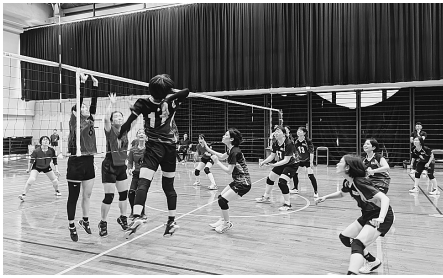


関東甲大会出場を決めた自治労都庁職チーム

7月4日、八王子市役所職員会館体育館にて、2026年関東甲地区自治体職員等スポーツ大会（バレーボール）東京都代表決定戦を開催し、自治労都庁職・八王子市職・三鷹市職の3チームによる総当たり戦で関

東甲大会への出場権を争った。

3試合が行われ、2戦全勝の八王子市職と1勝1敗の自治労都庁職が関東甲大会への出場を決めた。関東甲大会は、9月4日に栃木県鹿沼市で開催予定。



●第1試合 2-0
自治労都庁職 vs 三鷹市職
序盤から都庁がリードする展開。三鷹も要所で強打を拾うレシーブから反撃に転じるなどの見せ場を作っ

都本部バレーボール大会 八王子市職と自治労都庁職が関東甲大会へ

たが、第1セットは21-11で都庁が圧倒した。第2セットでは三鷹も果敢に攻め、着実に得点を重ねる。しかし、都庁がアタックの力を存分に発揮し、21-14で都庁が連取。2-0で都庁が初戦を制した。

●第2試合 2-0
八王子市職 vs 三鷹市職

第1セットは八王子が攻守でキレのあるプレーを見せ、いきなり5点を先取。三鷹もチームの連携力で点数を重ねるが、第1試合の疲労もあり点差を縮められず、21-6で八王子が第1セットを先取した。続く第

●第3試合 2-1
八王子市職 vs 自治労都庁職

第3試合は、初戦をともに勝利した2チームの闘い。第1セット前半は一進一退の攻防が続く。第1セット後半には9-9の同点から都庁が徐々に八王子を引き離し、20-14までリードする。ここで八王子が負

けじと底力を発揮し、20-20の同点まで追い上げ、デュースに持ち込んだ。互角の攻防のなか都庁が22-20で第1セットを先取した。続く第2セットは八王子がリードしながら試合が進むが、都庁も食らいつき、長いラリーが続きながら17-17まで拮抗する。ここから八王子が4連続得点を決め、21-17で八王子が第2セットを奪取しセットカウント1-1と並んだ。第3セットは両チームとも疲れの色が見えるが、互いに一歩も譲らないプレーを見せ、またも20-20のデュースとなった。激戦の結果、八王子が23-21で第3セットを先取し、2-1で逆転勝利を収めた。

東京地公労 第40回定期総会

2026年度活動方針を確立し、新体制が発足

7月27日、東京都内の地方公務員関連労組で組織する東京地方公務員関係労働組合連合会（東京地公労）は、田町交通ビルにおいて第40回定期総会を開催した。

総会冒頭、主催者挨拶に立った松村議長は「現在、公務員連絡会と人事院との交渉が本格化しているが、月例給の官民較差について人事院は『現在集計を行っているところであり、最終的にどのような結果となるか注目している』と例年どおりの回答に終始しており、極めて不満と言わざるを得ない。実質賃金が4年連続でマイナスとなる中、民間の賃上げ結果を公務員賃金にもしっかりと反映させ『真に生活改善につながる全世代での賃金の引上げ』を実現することが重要であり、とりわけ、再任用職員を含む中高年齢層の賃金改善は喫緊の課題だ。東京地公労は引き続き、予期せぬパンデミック、そして、頻発化する自然災害への対応な



▲活動方針が承認され、団結がんばろうで閉会した

次に、2026年度活動方針（案）では、「あらゆる差別の根絶、共生社会の実現」、「脱原発社会の実現」、「防衛政策より国民生活の向上」を主要な柱としつつ、2026年賃金決定闘争に向けた活動方針が提起された。「55歳昇給抑制措置の廃止」「60歳超職員の給与7割措置の廃止」「定年前再任用短時間勤務職員及び暫定再任用職員の賃金・一時金水準改善」「会計年度任用職員と常勤職員の均等待遇実現」等を掲げるとともに、全職員が物価高騰でも生活を改善できるよう賃金の引き上げを求めていくことについて、圧倒的多数の賛成により活動方針は承認された。

総会は松村議長の団結がんばろうで締めくくられた。



▲主催者挨拶に立つ松村議長

予告 第29回ベストショットコンクール

自治労東京都本部では今年もベストショットコンクールを開催いたします。自治労東京組合員・退職者会会員の方であればご応募可能です。

- 部門① テーマ「旅立ち」
- 部門② テーマ「ネイチャー」
- ※各部門につき1人3点までご応募いただけます。
- ※どちらの部門も、カメラ・スマートフォン等の撮影媒体は問いません。

●詳細は機関紙「自治労東京」10月号でお知らせいたします。



▲前回の最優秀賞「秋の日」／立川市職 渡邊 美穂さん

この特典は、組合員である「あなた」だけのもの



日立の家電製品を自治労東京組合員に特別価格でご提供
専用サイトからお気軽にお求めいただけます



パスワード「tohonbu」